

有明工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	英語Ⅱ
科目基礎情報						
科目番号	1Z011		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	創造工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	配布プリント、Data Base 3000 (桐原書店)					
担当教員	村田 和穂,山崎 英司,佐藤 佳代子,村端 啓介,シリーン エルモタセル,トーマス ライアンズ,バシュリージェイムズ エドワード					
到達目標						
1. 授業内外の多読活動を通して、10万語程度を達成することができる。 2. 直読直解の技能を身につけて、英語のまま理解することができる。 3. 基本語1,000語レベルの英文を毎分100語以上で読むことができる。 4. 実際の英語コミュニケーション活動を通じて英語で簡単な日常的表現が使用できる						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安(可)		未到達レベルの目安	
評価項目1	年間を通して、10万語達成することができる。		年間を通して、7万語達成することができる。		年間を通して7万語以下である。	
評価項目2	2,000語程度で書かれた英文を日本語へ訳さずに、概要を捉えることができる。		1,000語程度で書かれた英文を日本語へ訳さずに、概要を捉えることができる。		1,000語程度で書かれた英文の概要を捉えることができない。	
評価項目3	内容を把握しながら、毎分120語以上のペースで英文を読むことができる。		内容を把握しながら、毎分100語以上のペースで英文を読むことができる。		内容を把握しながら、毎分100語程度で英文を読むことができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 A-3						
教育方法等						
概要	本講では、主に授業内外での自主的な英語多読活動を通して、コミュニケーション能力の基盤となるインプットを多く吸収する。このような能動的なリーディング活動を継続的に行うことで、英語のまま理解するといった直読直解の技能を身につけることができる。授業では、図書館での多読活動の直前に単語帳を用いた語彙力増強の時間と小テストを設け、地道な語彙力の増強と、学生個人個人のレベルと興味に合わせた多読のハイブリッド授業を展開する。年間目標語数10万語を達成するためには、授業外でも積極的に読書活動へ取り組む必要がある。多読と並行して月に複数回英語ネイティブ講師とのグループアクティビティに参加することで実践的な会話能力の育成も図る。					
授業の進め方・方法	自身で教材を選択できる自学スタイルを取りつつ、テーブルごとにまとめたグループワークを適度に挟む。更にグループに分かれて英語ネイティブ講師によるコミュニケーション活動にも参加する。					
注意点	・必ず単語帳を持参し、多読前のウォーミングアップである小テストに真剣に取り組む。 ・多読の進捗度を記録する「多読記録シート」への記入を行い、達成した単語数をきちんと確認できるようにする。また記録時に不正は行わないこと。 ・図書館でのマナーを守り、静かに読書活動へ取り組む。					
授業の属性・履修上の区分						
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		(1) 多読・多聴の学習方法について理解する。 (2) 図書館の利用方法について知る。 (3) レベルに合った本の探し方について学ぶ。	
		2週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動 (レベル1)		レベル1 (0～200語程度) の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。	
		3週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動 (レベル1)		レベル1 (0～200語程度) の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。	
		4週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動 (レベル1)		レベル1 (0～200語程度) の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。	
		5週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動 (レベル1)		レベル1 (0～200語程度) の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。	
		6週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動 (レベル1)		レベル1 (0～200語程度) の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。	
		7週	物語文の暗唱と音読練習		ペアでの音読活動を通して、文字と音声を結びつける。相手に意味が伝わるような話し方を身につける。また定められた語数以上の英文を暗記し、定期試験に備える。	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	テスト返却と解説			
		10週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動 (レベル2)		レベル2 (200～400語程度) の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。	

後期		11週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル2）	レベル2（200～400語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。
		12週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル2）	レベル2（200～400語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。
		13週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル2）	レベル2（200～400語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。
		14週	物語文の暗唱と音読練習	ペアでの音読活動を通して、文字と音声を結びつける。相手に意味が伝わるような話し方を身につける。また定められた語数以上の英文を暗記し、定期試験に備える。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。
		15週	前期末試験	
		16週	テスト返却と解説	
	3rdQ	1週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル3）	レベル3（400～800語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。
		2週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル3）	レベル3（400～800語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。
		3週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル3）	レベル3（400～800語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。
		4週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル3）	レベル3（400～800語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。
		5週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル3）	レベル3（400～800語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。
		6週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル3）	レベル3（400～800語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。
		7週	物語文の暗唱と音読練習	ペアでの音読活動を通して、文字と音声を結びつける。相手に意味が伝わるような話し方を身につける。また定められた語数以上の英文を暗記し、定期試験に備える。
		8週	後期中間試験	
		9週	テスト返却と解説	
		10週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル4）	レベル4（800～2,000語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。
		11週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル4）	レベル4（800～2,000語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。
		12週	ボキャブラリー増強と図書館での自主的な多読活動（レベル4）	レベル4（800～2,000語程度）の多読用図書を用いて、絵や文脈から単語を推測する訓練を行い、英語のまま理解する技能を身につける。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。
		13週	ブックシェア（これまで読んだ本の中で心に残る本について英語で紹介をする）	相手に意味が伝わるような話し方を身につける。
		14週	物語文の暗唱と音読練習	ペアでの音読活動を通して、文字と音声を結びつける。相手に意味が伝わるような話し方を身につける。また定められた語数以上の英文を暗記し、定期試験に備える。英語講師のもとコミュニケーション活動を行い、実践的英語を訓練する。
		15週	学年末試験	
		16週	テスト返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後10,後11,後12
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	後1,後2,後3,後4,後5,後6,後10,後11,後12
			英語運用能力の基礎固め	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	前7,前14,後7,後13,後14

				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	前2,前3,前4,前5,前6,前7,前10,前11,前12,前13,後1,後2,後3,後4	
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	50	0	100
基礎的能力	50	0	0	0	50	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0